

令和3年度 学校評価 自己評価書(1学期)

1 学校の重点目標

- 「自尊感情」「自己有用感」の育成 ～どの子供も心から「学校が楽しい」と思える中山小を目指して～
- 子供たちの夢の実現につながる確かな学力の定着 ～ラスト10分のチャレンジ～
- 体力の向上・健康的な生活習慣づくりの指導の充実 ～チャレンジかごしまへの取組・むし歯治療率85%～

2 課題と解決策

(評価の基準 4:達成率80%以上 3:60～79% 2:40～59% 1:39%以下)

子供像・重点課題	評価項目	職員 (1年前との比較)	評価結果と2学期の改善方策
思いやりのある情操豊かな子供	1 元気な挨拶・会釈の指導	2.5 (+0.1)	・ 挨拶はするものの、受け身である。自ら挨拶ができるように意識を高める。
	2 自尊感情・自己有用感を育てる学級づくり	2.9 (±0.0)	・ 努力したことやできたことなどをほめて、自己肯定感を高める。
	3 朝読書・図書室利用の推進による心の安定	3.2 (-0.1)	・ 読書好きな子が増えているが、冊数だけでなく、本の内容に意識を向けさせる。
	4 「揃える」指導の工夫・徹底(スリッパ・机・いす)	2.5 (+0.1)	・ トイレのスリッパ並べの声かけを続けていく。(見届け・称賛)
自ら考え共に学ぶ子供	5 主体的・対話的で深い学び	2.8 (昨年度未実施)	・ 職員でお互い研修を深め、授業の改善や工夫を続ける。
	6 ラスト10分のまとめ・習熟の時間の確保・確実な見届け	2.8 (+0.1)	・ 習熟の時間の確保に努めた。「まとめや振り返り」の時間を確保する。
	7 授業と連動した家庭学習の充実	3.3 (+0.2)	・ 取組に個人差が見られる。家庭学習強化週間等で、保護者との連携を図る。
	8 学習の準備等の生活習慣の確立	2.8 (±0.0)	・ 忘れ物を少なくするために、どんな工夫が必要かを考えさせていく。
進んで最後までやり抜く子供	9 教科体育や自主的な体力づくりの充実	2.5 (±0.0)	・ 運動会后、各学級で「チャレンジかごしま」の取組を続けて体力を向上させる。
	10 ルールやマナーを守った安全な登下校の指導の徹底	2.7 (+0.1)	・ 安全な登下校について、自分のこととして考えるように指導を続ける。
	11 むし歯治療率85%の推進	2.8 (±0.0)	・ 治療をしている家庭が増え始めた。声かけをして、治療率85%を目指す。

3 2学期に向けての取組

- 各学年の研究授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を充実させる。
- 学力向上支援 Web システムの良間を積極的に活用し、確かな学力の定着を図る。
- 自主的に「挨拶」や「トイレのスリッパ並べ」ができるように、児童会と連携しながら、指導を工夫して意識を高める。
- 運動会や持久走大会を目標にすることで、自主的に体力づくりができるようにする。